

品目別レポート（菓子類）

■品目説明

〔チューインガム〕

チューインガムの種類には風船ガム、板ガム、粒ガムなどがある。また、使用する甘味料により、シュガータイプとシュガーレスタイプに大別することができる。味による分類ではミント系、フルーツ系、スパイス系などがある。

〔キャンディー、キャラメル類〕

キャンディーは、ハードキャンディーとソフトキャンディーに大別される。ハードキャンディーは、高温で加熱して硬く仕上げるもので、ドロップ、タフィ、バタースコッチなどがある。ソフトキャンディーは、低温で加熱して柔らかく仕上げるもので、ヌガー、グミ、チューイングキャンディーなどがある。キャラメルは、ソフトキャンディーの一種であり、生クリーム、水飴、砂糖、バターなどを熱して溶かし、冷やし固めたものである。

〔チョコレート菓子〕

チョコレート菓子は、カカオ豆を摩砕、発酵、焙煎したカカオマスに、ココアバター、砂糖、乳製品などを加え、調製したもの（チョコレート）を用いて製造される菓子である。

〔クッキー、ビスケット、クラッカー〕

クッキーは小麦を主原料とする焼き菓子で、主に北米で使用される言葉である。それ以外の英語圏ではビスケットと呼ばれるが、この両者は国・地域によって異なったり混同されていたりして、定義はさまざまである。クラッカーはビスケットの一種で、塩味の強いビスケットの総称として使われる。

〔ワッフル、パイ、ケーキ〕

ワッフルは小麦粉、鶏卵、バター、砂糖、イーストなどを混ぜて発酵させて作った生地を、2枚の鉄板（ワッフル型）に挟んで焼き上げた菓子を指す。パイは小麦粉とバターなどから作った生地、果実類やナット類を包み込むなどして焼き上げた菓子を指す。ケーキは穀粉（小麦粉など）、鶏卵、油脂、水分、膨張剤を配合して作られる焼き菓子の総称であり、果実類などをトッピングするが多い。

〔米菓（あられ、せんべい）〕

せんべいには原料別に、小麦粉、米、ばれいしょなどのでん粉を用いるものの3種類がある。小麦粉を原料とするものは、甘味せんべいなどとして主に関西で生産される。一方、米を用いるものは米菓せんべいと呼ばれ、関東を中心に作られている。また、ばれいしょでん粉で作られるものには、えびせんべいなどがある。あられはうるち米の米餅を数センチの長さで切って火で炙った菓子で、米の代わりに炒った豆を使用することもある。また、油で揚げたものもある。

全日本菓子協会によると、訪日外国人によるインバウンドの需要は順調に伸びて2019年に1,705億円に達していたが、新型コロナウイルス感染症の拡大により20年には訪日外国人数が前年比87.1%減の412万人となり需要の大半が消失した。また菓子類の輸出額（米菓を含む）は233億円と前年比4.6%減となった。

同協会によると、20年の生産額は前年比6.0%減の2兆3,713億円であった。20年の生産額をジャンル別にみると、「ビスケット」、「スナック菓子」が前年を上回った。一方、「飴菓子」、「チョコレート」、「チューインガム」、「せんべい」、「和生菓子」、「洋生菓子」、「米菓」、「油菓子」は前年を下回った。

■貿易概況

20年の菓子類の輸出額は、前年比1.1%減の5億4,180万ドル、輸出量は同2.6%減の4万6,670トンとなった。主な輸出品目はチョコレート菓子（菓子類輸出額全体の15.0%）、キャンディー類（同13.3%）、米菓（あられ、せんべい）（同7.8%）などである。

輸出相手国・地域の1位は香港で、前年比5.5%減の1億4,702万ドル、2位は中国で同15.5%増の1億2,192万ドル、3位は台湾で同5.4%増の7,903万ドルとなった。また、4位の米国は同0.3%増の6,999万ドル、5位のシンガポールは同2.2%減の2,828万ドルとなった。

〔チューインガム〕

チューインガムの輸出は中東向けが多い。20年の輸出額は前年比0.7%増の579万ドル、輸出量は同6.3%増の737トンと金額、数量ともに増加となった。1位のサウジアラビアと2位のアラブ首長国連邦向けの輸出額の合計は226万ドルと全体の39.0%を占めている。

〔キャンディー類〕

キャンディー類の輸出は東アジア向けが中心である。20年の輸出額は前年比9.0%減の7,208万ドル、輸出量は同13.6%減の5,570トンと金額、数量ともに減少となった。1位は中国で、同19.9%増の2,227万ドルとなった。2位の香港は同16.7%減の2,175万ドルと減少した。3位は台湾で同1.8%増の863万ドル、4位米国は同18.2%減の757万ドルだった。

〔チョコレート菓子〕

チョコレート菓子の輸出は東アジア向けが中心。20年の輸出額は前年比0.6%減の8,179万ドル、輸出量は同1.6%減の5,903トンとなった。輸出相手国・地域1位は香港で、輸出額は同5.2%減の2,071万ドル。以下、中国、台湾、米国、フィリピンと続くが、中国向け（43.4%増）が好調であった反面、米国向け（17.0%減）は減少した。

▼表1：日本の菓子類の輸出

(単位：1,000ドル、トン、%)

	金額				数量			
	2018年	2019年	2020年	前年比	2018年	2019年	2020年	前年比
菓子類合計	550,795	547,899	541,806	△ 1.1	49,292	47,940	46,670	△ 2.6
香港	168,915	155,577	147,021	△ 5.5	14,378	13,583	12,835	△ 5.5
中国	74,910	105,542	121,927	15.5	5,799	7,647	8,508	11.3
台湾	77,936	74,965	79,038	5.4	7,204	6,794	7,051	3.8
米国	66,682	69,804	69,994	0.3	6,369	6,610	6,791	2.7
シンガポール	28,843	28,907	28,280	△ 2.2	2,388	2,388	2,358	△ 1.3
チューインガム	6,246	5,756	5,795	0.7	797	693	737	6.3
サウジアラビア	1,176	1,491	1,144	△ 23.3	207	259	197	△ 23.9
アラブ首長国連邦	733	594	1,118	88.1	155	124	233	87.9
中国	469	839	978	16.6	32	56	72	28.6
ロシア	731	603	804	33.3	57	46	65	41.3
香港	940	679	601	△ 11.5	75	54	48	△ 11.1
キャンディー類	74,446	79,173	72,083	△ 9.0	6,443	6,450	5,570	△ 13.6
中国	11,502	18,584	22,273	19.9	892	1,236	1,467	18.7
香港	25,429	26,113	21,757	△ 16.7	1,847	2,000	1,621	△ 19.0
台湾	9,346	8,480	8,634	1.8	840	737	702	△ 4.7
米国	7,974	9,258	7,576	△ 18.2	697	791	606	△ 23.4
韓国	10,086	5,749	3,492	△ 39.3	1,278	775	520	△ 32.9
チョコレート菓子	84,904	82,281	81,797	△ 0.6	6,541	5,997	5,903	△ 1.6
香港	23,655	21,856	20,712	△ 5.2	1,736	1,528	1,528	0.0
中国	10,709	12,737	18,262	43.4	593	787	1,137	44.5
台湾	10,264	9,896	12,493	26.2	944	857	1,037	21.0
米国	10,805	12,243	10,160	△ 17.0	816	873	819	△ 6.2
フィリピン	4,414	4,486	4,158	△ 7.3	380	376	342	△ 9.0
ビスケット	11,406	9,631	10,049	4.3	894	876	881	0.6
中国	5,654	4,713	4,619	△ 2.0	431	488	465	△ 4.7
香港	2,995	2,350	2,494	6.1	281	221	249	12.7
台湾	1,271	1,075	1,278	18.8	57	46	45	△ 2.2
ベトナム	345	249	409	63.8	33	23	38	65.2
米国	105	188	222	17.8	9	16	15	△ 6.3
米菓（あられ、せんべい）	40,023	39,501	42,574	7.8	4,053	4,033	4,222	4.7
米国	10,251	10,290	10,746	4.4	1,112	1,100	1,134	3.1
台湾	7,929	8,212	9,942	21.1	830	854	989	15.8
香港	6,721	6,638	7,034	6.0	629	603	629	4.3
シンガポール	2,427	2,230	2,513	12.7	208	209	227	8.6
サウジアラビア	1,600	1,467	2,022	37.8	279	258	335	29.8

出所：Global Trade Atlas（IHS Markit）より作成

[ビスケット]

ビスケットの輸出は東アジア向けが中心である。20年の輸出額は前年比4.3%増の1,004万ドル、輸出量は同0.6%増の881トンとなった。輸出相手国・地域では、1位は中国向けで輸出額は前年比2.0%減の461万ドル、輸出量は同4.7%減の465トン。2位の香港向け輸出額は同6.1%増の249万ドル。この2カ国で全輸出額の70.7%を占めた。一方、3位の台湾は金額で同18.8%増の127万ドル、数量で同2.2%減の45トンいずれも減少となった。

〔米菓(あられ、せんべい)〕

20年の米菓(あられ、せんべい)の輸出額は前年比7.8%増の4,257万ドル、輸出量は同4.7%増の4,222トンと金額、数量ともに増加した。輸出相手国・地域の1位は米国で、同4.4%増の1,074万ドル、2位は台湾で同21.1%増の994万ドルとなった。以下、香港(703万ドル、同6.0%増)、シンガポール(251万ドル、同12.7%増)と続く。

■海外事情

●香港

▼表2：香港の菓子類輸入

(単位：ドル、トン、%)

	2018年		2019年		2020年		前年比	
	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量
中国	211,951,326	62,440	225,355,398	59,524	186,784,732	51,999	△ 17.1	△ 12.6
日本	193,442,079	21,550	189,005,777	23,184	167,761,681	20,929	△ 11.2	△ 9.7
イタリア	117,416,689	12,618	110,764,801	12,106	83,912,863	9,346	△ 24.2	△ 22.8
米国	69,873,755	9,816	67,791,820	9,700	47,125,441	6,405	△ 30.5	△ 34.0
英国	47,986,882	7,997	43,316,912	7,887	38,297,627	7,371	△ 11.6	△ 6.5
全世界	1,103,783,248	189,440	1,101,002,688	188,300	849,147,607	152,028	△ 22.9	△ 19.3

注：対象はHSコード 1704, 1806, 1905

出所：Global Trade Atlas (IHS Markit) より作成

20年の香港における菓子類の輸入動向をみると、金額は前年比22.9%減の8億4,914万ドル、数量は同19.3%減の15万2,028トンであった。

輸入相手国の動向みると、1位の中国が前年比17.1%減の1億8,678万ドル(シェア21.9%)、数量ベースでは12.6%減の5万1,999トン(シェア34.2%)だった。2位の日本は、同11.2%減の1億6,776万ドル(シェア19.7%)、数量ベースでは9.7%減の2万929トン(同13.7%)、3位のイタリアは、金額が同24.2%減の8,391万ドル(同9.8%)、数量は同22.8%減の9,346トン(同6.1%)となり、上位3カ国の合計シェアは、金額で51.6%、数量で54.1%を占めた。

〔キャンディー類〕

▼表3：香港のキャンディー類の輸入

(単位：ドル、トン、%)

	2018年		2019年		2020年		前年比	
	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量
日本	70,214,959	7,229	68,198,354	7,976	53,359,953	6,384	△ 21.8	△ 20.0
中国	25,112,356	7,112	21,997,058	6,019	17,402,649	4,727	△ 20.9	△ 21.5
ドイツ	15,376,200	3,650	15,511,620	3,787	14,253,198	3,416	△ 8.1	△ 9.8
米国	19,286,471	2,416	16,987,075	1,931	8,629,693	1,118	△ 49.2	△ 42.1
タイ	11,685,958	1,915	12,550,935	1,881	5,825,210	837	△ 53.6	△ 55.5
全世界	195,804,616	31,511	184,207,085	29,652	129,608,658	21,388	△ 29.6	△ 27.9

注：対象はHSコード 1704.90-00

出所：Global Trade Atlas (IHS Markit) より作成

20年のキャンディー類の輸入をみると、金額は前年比29.6%減の1億2,960万ドル、数量は同27.9%減の2万1,388トンとなった。

主要輸入相手国の動向をみると、輸入額1位の日本は5,335万ドル(前年比21.8%減)、数量は同20.0%減の6,384トンであった。2位の中国は金額が1,740万ドル(同20.9%減)、数量が4,727トン(21.5%減)、3位のドイツは金額が1,425万ドル(同8.1%減)、数量は3,416トン(同9.8%減)だった。

キャンディーは、特に春節(旧正月)の時期に、贈答用商品として扱われている。

[チョコレート菓子]

▼表4：香港のチョコレート菓子の輸入

(単位：ドル、トン、%)

	2018年		2019年		2020年		前年比	
	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量
イタリア	106,997,153	10,637	101,710,665	10,385	76,089,224	7,858	△ 25.2	△ 24.3
中国	25,791,331	7,215	73,792,922	7,674	58,791,673	5,615	△ 20.3	△ 26.8
スイス	36,300,841	2,956	43,658,589	3,287	23,145,953	1,554	△ 47.0	△ 52.7
米国	30,257,705	4,163	28,324,044	4,360	20,091,240	3,018	△ 29.1	△ 30.8
日本	17,167,380	1,398	18,679,909	1,538	15,178,533	1,286	△ 18.7	△ 16.4
全世界	390,727,698	47,106	431,441,322	48,456	296,523,345	32,047	△ 31.3	△ 33.9

注：対象はHSコード 1806.20-00、1806.31-00、1806.32-00、1806.90-00

出所：Global Trade Atlas (IHS Markit) より作成

20年のチョコレート菓子の輸入をみると、金額は前年比31.3%減の2億9,652万ドル、数量は同33.9%減の3万2,047トンと金額、数量ともに減少した。

主要輸入国の動向をみると、輸入額1位のイタリアは7,608万ドル(前年比25.2%減)、数量は7,858トン(同24.3%減)となった。2位の中国は金額が5,879万ドル(同20.3%減)、数量が5,615トン(同26.8%減)であった。以下、3位はスイス、4位は米国だった。5位の日本は金額が1,517万ドル(同18.7%減)、数量は1,286トン(同16.4%減)といずれも前年から減少した。

香港ではイタリアのチョコレートメーカー、フェレロの子会社であるFerrero Asia Ltdがチョコレート市場で強く、フェレロ・ロシェならびに関連商品が市場では最も人気のある製品となっている。

近年、多くの高級ブランドチョコレートが香港でポップアップストア(期間限定ショップ)やカフェの形でビジネスを展開し、春節(旧正月)やバレンタインデー、ホワイトデーなど季節性をいかしたPR活動も多くなった。

●台湾

▼表5：台湾のキャンディー類の輸入

(単位：ドル、トン、%)

	2018年		2019年		2020年		前年比	
	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量
日本	15,595,842	1,535	14,725,983	1,409	13,206,344	1,215	△ 10.3	△ 13.8
マレーシア	4,996,178	2,821	6,618,357	3,431	5,165,895	2,209	△ 21.9	△ 35.6
ベトナム	4,330,773	1,762	4,128,179	1,773	4,005,113	1,549	△ 3.0	△ 12.6
ドイツ	3,930,838	791	4,189,262	870	3,878,682	720	△ 7.4	△ 17.2
インドネシア	1,614,002	733	1,609,934	679	1,907,389	765	18.5	12.7
全世界	50,264,659	12,089	51,004,287	12,531	43,386,213	9,798	△ 14.9	△ 21.8

注：対象はHSコード 1704.90-00

出所：Global Trade Atlas (IHS Markit) より作成

20年の台湾におけるキャンディー類の輸入動向をみると、金額は前年比14.9%減の4,338万ドル、数量は同21.8%減の9,798トンであった。

輸入相手国の動向みると、1位の日本が前年比10.3%減の1,320万ドル(シェア30.4%)、数量ベースでは13.8%減の1,215トン(シェア12.4%)だった。2位のマレーシアは、同21.9%減の516万ドル(同11.8%)、数量ベースでは35.6%減の2,209トン(同22.5%)、3位のベトナムは、金額が同3.0%減の400万ドル(同9.2%)、数量は同12.6%減の1,549トン(同15.8%)であった。上位3カ国の合計シェアは、金額で51.5%、数量で50.7%を占めた。

[チョコレート菓子]

▼表6:台湾のチョコレート菓子の輸入

(単位：ドル、トン、%)

	2018年		2019年		2020年		前年比	
	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量
米国	30,003,632	4,362	34,476,843	4,646	26,559,236	3,484	△ 23.0	△ 25.0
イタリア	24,603,445	2,325	22,848,562	2,212	16,985,284	1,383	△ 25.7	△ 37.5
日本	9,923,093	882	9,598,368	873	11,194,976	981	16.6	12.4
ベルギー	10,933,112	664	10,353,820	730	6,534,961	629	△ 36.9	△ 13.8
フランス	5,179,160	435	5,937,017	538	6,160,093	593	3.8	10.2
全世界	124,584,602	15,801	127,538,460	16,354	108,664,559	14,526	△ 14.8	△ 11.2

注：対象はHSコード 1806.20、1806.31、1806.32、1806.90

出所：Global Trade Atlas (IHS Markit) より作成

20年のチョコレート菓子の輸入は、金額が1億866万ドル(前年比14.8%減)、数量で1万4,526トン(同11.2%減)であった。国別では金額、数量ともに米国が1位で、金額は同23.0%減の2,655万ドル、数量は同25.0%減の3,484トンだった。2位のイタリアは、金額で同25.7%減の1,698万ドル、数量で37.5%減の1,383トンだった。3位の日本からの輸入は金額が1,119万ドル(前年比16.6%増)、数量で981トン(同12.4%増)といずれも増加した。

台湾内でもチョコレート菓子は生産されているが普及品が中心で、種類の多さ、品質の高さで輸入品や海外ブランドが市場を席巻している。ギフト用の高級チョコは欧州産(ベルギーやフランスのプラリネタイプやイタリアのフェレロ・ロシェなど)のほか、米国の有力ブランド(スニッカーズやM&M'Sなど)や、さまざまな日本産のチョコレート菓子(明治の板チョコやグリコのポッキーなど)が百貨店、スーパーおよびコンビニで販売され市場に浸透している。

[米菓(あられ、せんべい)]

▼表7:台湾の米菓（あられ、せんべい）の輸入

(単位：ドル、トン、%)

	2018年		2019年		2020年		前年比	
	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量
日本	10,236,540	1,382	10,720,730	1,447	11,256,487	1,477	5.0	2.1
タイ	1,461,445	363	1,479,944	442	1,037,127	324	△ 29.9	△ 26.7
ベトナム	81,879	22	101,880	24	152,752	37	49.9	54.2
マレーシア	13,447	16	47,962	60	23,922	30	△ 50.1	△ 50.0
韓国	40,930	7	23,471	2	7,121	1	-	-
全世界	11,885,695	1,799	12,395,367	1,981	12,488,033	1,873	0.7	△ 5.5

注：対象はHSコード 1905.90-5000

出所：Global Trade Atlas (IHS Markit) より作成

20年の米菓(あられ、せんべい)の輸入は、金額が1,248万ドル(前年比0.7%増)、数量で1,873トン(同5.5%減)となった。国別輸入先をみると、金額、数量ともに日本とタイが1位、2位を継続して占めている。

20年の日本からの輸入は、金額で前年比5.0%増の1,125万ドル、数量で同2.1%増の1,477トンと、金額、数量ともに前年を上回った。2位のタイは金額で同29.9%減の103万ドル、数量で同26.7%減の324トンとなった。

台湾の米の加工品はチルド商品(ビーフンやちまきなど)が台湾内で生産される一方、一定規模の資本が必要な米菓などのドライ商品は大手メーカーが海外で生産し、台湾に輸入するケースが増えている。日本以外の米菓の輸入先であるタイ、ベトナム、マレーシアについても、人件費高、原料高、土地不足などを理由に海外移転した台湾メーカーからの輸入といわれている。

米菓は日本からの技術導入もあり、台湾内でも日本と同様のものが生産されている。しかし、台湾では硬い“あられ”は日本市場ほど好まれず、柔らかい“せんべい”が一般的で、さらに“ソフトせんべい”が好まれるなど、日本市場との違いはある。一方、台湾産品より高い品質と評価されている日本産米菓は、“せんべい”を中心に一定の需要があり、多品種少量で輸入され、百貨店やスーパーマーケットを中心に広く流通している。

本レポートに関する問い合わせ先：
日本貿易振興機構（ジェトロ）
農林水産・食品部 農林水産・食品課

〒107-6006
東京都港区赤坂 1-12-32 アーク森ビル
TEL：03-3582-5186

【免責条項】

本レポートで提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご使用ください。ジェトロでは、できるだけ正確な情報の提供を心がけておりますが、本レポートで提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益を被る自体が生じたとしても、ジェトロ及び執筆者は一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。